

質 問 書

2022 年 10 月 5 日

「ニカラグア国初等教育における算数に親しむ学習プロジェクト」

(公示日:2022 年 9 月 28 日/調達管理番号:22a00550)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	p.8 第 2 章 第 3 条 プロジェクトの概要 (5)主な活動 註 2. プロジェクト開始前までの活動について	R/D には、プロジェクト開始前までに 1~3 年生の算数教科書ドラフトを作成するとありますが、企画競争説明書には 1~2 年生の同ドラフト作成を終える予定と書かれており、それに伴い「主な活動」も修正されております。企画競争説明書に書かれた内容に沿って、プロポーザルを作成すればよろしいでしょうか。	ご理解の通り、企画競争説明書記載の内容にそってプロポーザルのご作成をお願いします。
2	p.11 第 2 章 第 6 条 実施方針及び留意事項 (7)他案件・スキームとの連携	エルサルバドルの案件との連携を検討するよう指示されていますが、前プロジェクトで実施していたような広域セミナー等の実施予定や広域活動に伴う旅費を積算する必要はありますか。	エルサルバドルで「初中等算数・数学教育における学力評価に基づいた学びの改善プロジェクト」の案件を実施中で、同案件を軸に広域活動が行われている状況への連携であることから、本プロジェクトでの広域連携のための近隣国への旅費計上は不要です。
3	p.11 第 2 章 第 6 条 実施方針及び留意事項 (9)評価報告書にかかる C/P との協議 p.12 第 2 章	「評価報告書」と「エンドライン調査報告書」は、同じものを指しているのでしょうか。P.12 に書かれている「評価計画書(案)」に基づいてエンドライン調査を実施し、その結果をエンドライン調査報告書(評価報告書)にまとめるという理解でよろしいでしょうか。 また、p.12 に示された「評価計画書(案)」と p.13 の報告書に示された「評価計画書」は、ど	「評価計画書(案)」に基づいてエンドライン調査を実施し、その結果をエンドライン調査報告書として提出することになります。「評価計画書(案)」と「評価計画書」は同じものを指しています。

	<p>第7条 業務の内容 (4)エンドライン調査の計画、実施、分析</p> <p>p.13 第2章 第8条 報告書等 (1)報告書</p>	<p>のような関係にあるのでしょうか。 「評価計画書(案)」に基づいてエンドラン調査を実施するよう指示されていますが、「評価計画書」は、エンドライン調査の実施が想定される時期よりも、かなり前に提出期限が設定されているため、両者の関係性が理解できませんでした。</p>	
4	<p>p.19 第3章 4. 見積作成にかかる留意事項 (4)見積価格について</p>	<p>各費用にて千円未満を切捨てした合計額(税抜き)を計上するよう指示がございましたが、中項目レベルで千円未満切捨てをする、という理解でよろしいでしょうか。</p>	<p>ご理解のとおりです。</p>
5	<p>P.7 第2条プロジェクトの背景</p>	<p>本プロジェクトの詳細計画策定調査を2022年5月に実施したとのことですが、調査結果報告書等がございましたら共有いただけますでしょうか。</p>	<p>詳細計画策定調査にかかる報告書は外部公開していません。</p>
6	<p>P.8 第3条プロジェクトの概要(5)主な活動 2-2、2-5</p>	<p>教科書の導入研修用ビデオ作成に対する技術支援が活動として存在しますが、ビデオ作成にかかる費用は先方あるいは日本側のどちらになるのでしょうか。日本側の場合は見積に含めるということになりますでしょうか。</p>	<p>本プロジェクトでの活動は、技術支援のみですので、作成にかかる費用の計上は不要です。</p>
7	<p>P.10 (6)他ドナーとの連携・調整</p>	<p>UNICEFより、本プロジェクトの教科書改訂において、改定内容についての連携を求められている状況とのことですが、具体的にどのような連携案を打診されているのでしょうか。</p>	<p>UNICEFとしては、ユニバーサルデザインを取り入れようとしており、本プロジェクトにおける教科書改訂に取り入れるように打診がきています。</p>
8	<p>P.11 (9)評価報告書にかかるC/Pとの協議(注釈)</p>	<p>評価報告書作成にあたっての「評価法目」とは、「評価項目」のことでしょうか。</p>	<p>「評価法目」を「評価項目」に訂正します。</p>

以上